

横山幸次

区政報告
二二一八

716

2018年12月9日
発行 日本共产党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
araicn@tcp.catv.ne.jp

横山区議事務所
川区町屋5-3-5
3895-0504
メールアドレス
uii_office@mail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...

口腔崩壊の子どもが東京で3校に1校（東京歯科保険医協会） 学校をプラットホームにした子どもの貧困対策を

	検診受診人数	要受診と診断された人数	要受診者の割合	検診後の受診人数	検診後の受診率
小学校	120,656	32,835	27.21%	19,094	58.15%
中学校	71,844	20,791	28.94%	6,331	30.45%
全体	192,500	53,626	27.86%	25,425	47.41%



エアコンなど購入補助事業は来年も実施へ

今夏の酷暑は災害並みでした。そこで区が実施した「熱中症対策予防緊急対策」=高齢者・障害者・子育て世帯へのエアコン等購入に上限5万円の助成を行い、大きな注目を集めました。日本共産党区議団は、引き続き来年度も継続して実施を求めてきました。地球温暖化もあり来年も同じような状況になることも十分考えられます。区は、

11月区議会で「来年度に限つて実施する」と答弁しました。

エアコンなど購入費助成実績

上位8割助成件数	
助成件数	65歳以上の世帯
	障害者手帳所持・要介護4以上世帯
	就学前の子どものいる世帯 (うち生活保護世帯83件)
	合計
助成総額	10,903,785円
相談件数	高齢者福祉課
	子育て支援課
	合計

A close-up photograph of a slender, brown stem with several small, reddish-brown, rounded flower buds or fruits arranged along its length. The background is a neutral, textured grey.

我が家の鉢植えの白梅 尾々の原のススキ



今朝は一転して冬の寒さが戻つてきました。昨日までは都内で25度など夏日も記録していた中での急変で、体の方が変化に追いつきませんね。尾久の原公園にはススキが穂を出し、風にそよいでいました。ここらで一気に気温も含めました。なんとなく愛おしくなるのです。来年はもう少し手入れをしなければ…。（横山幸次）

しかしながら自然は着実に春の準備を始めています

入れらしい手入れもせず、「今年は花をつけるかな」など他人事のように考えて毎年過ごしてきましたが、たくましく春の準備をしていました。なんとなく愛おしくなるのです。来年はもう少し手入れをしなければ…。（横山幸次）



季節は秋から冬へのはずが都内で「夏日」もしかし自然は着実に春の準備を始めています。今朝は一転して冬の寒さが戻つてきました。昨日までは都内で5度花をつけるかな。(なごよ)

裏面 区立通所サービス センター廃止問題...など

定期法律相談会

来年の法律相談

1月7日(月)
2月5日(火)

(台謹士の都会で少瞬に恋雨)

横山事務所18時～20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします

生活相談は、隨時受付下さい。

TEL & FAX 3895-0504

不在時は 留守電へ 後で連絡します

区役所控室 3802-4621



区立高齢者通所サービスセンターの再編計画… 西尾久西部通所サービスセンター廃止の再検討を求める

サービス利用者の合
意抜きの強行はダメ
荒川区は、区立高齢者通所
サービスセンターの廃止を含
めた再編計画を進めようとし
ています。そのうち、西尾久
西部通所サービスセンターは、
同一建物に知的障害者の生活
支援などを行う区立尾久実習所
「希望の家」を併設し23年間、
高齢者も障害者もその家族も
交流しながら運営されてきました。
ところが、今回の通所
活実習所の拡大の計画は、ま
さにそれぞれの利用者にとつ
て寝耳に水の話です。

現在通所サービスセンター
の利用は約90人。場所にも慣
れ顔なじみも増え、1週間の
生活リズムもでき定着してい
ます。利用者一人一人に寄り
添った対応が必要です。民間
の同じサービスが増えている
と区は、いいますが、介護報
酬引き下げで3年内で区内23
事業所が廃業。区立の場合、
各地域の拠点としての役割も
あり、市場原理に左右されず、
区として介護サービスを提供
する責任を果たすことができます。
また、重度の方の受け
入れも区立施設の役割です。
議会では、西尾久西部通所サ
ビスセンター廃止の再検討を
求めました。

障害者の生活実習所の増設を

生活実習所「希望の家」は、1
984年に設立。現在の地に移つ
たのが1995年。その後7年後
に尾久保健相談所跡に分場が開
設されました。しかし、現
状でも手狭となり、今後の利用
者増を見越して、新しい通所施
設の開設が課題にあがり、保護
者のみなさんが毎年のように
要望が出されていました。



← 東京都水道局・南6丁目2階

今週のデータ 消費税10%増税分は年5兆円… 富裕層資産や大企業内部留保と比べると

国公労連の雑誌『KOKKO』編集者井上さんのツイッターからの引用です。「富裕層の投資可能な金融資産は安倍政権下で372兆円も増加し、大企業の内部留保は93兆円増加。消費税率8%から10%アップで税収は約5兆円増える。この5兆円は2017年の富裕層資産のわずか0.6%、内部留保の1%弱相当に過ぎない。」

富裕層資産877兆円、大企業の内部留保426兆円 消費税増税分の5兆円はわずか0.6%～1%相当

内部留保は財務省「法人企業統計」、富裕層資産はキャップ・ジャミニ「アジア太平洋ウェルス・リポート2018」の投資可能資産100万ドル超を持つ個人の日本の合計



障害者グループホームが 12月に開所しました

昨年9月から整備していた東日暮里2丁目のグレー

プホームひぐらし(定員12名・緊急一時1名)が12月1日から開所しました。2016年9月に元東日暮里ひろば館跡地の10年間無償貸与で公募をかけましたが、応募する事業者がなく、12月に区独自の補助制度を新たに創設し再公募を行いました。その結果2事業者の応募。うち1つは東京での人員確保が難しいと辞退し、一般社団法人オフィスサプライ(2016年10月法人設立)に決定しました。

この会社は札幌に継続して区内で作業所2カ所、グループホーム2カ所を運営しています。

区内では現在、グループホームは知的10か所(63名)うち1か所(12名)は入所は3年間・精神12か所(81名)あります。

地上4階(延床面積436.23m²) 1階：事務室、緊急一時保護室、区の備蓄倉庫・集会室(町会等利用可) 2、3階：個室6部屋、共有リビング4階交流室

利用料 家賃25,800円 食材費25,000円 光熱水費15,000円 日用品費5,000円 ~ 3か月で実費精算

家財火災保険2年15,000円

利用対象者：18才以上の主に知的障害者で、ある程度身の回りのことが出来る方

募集入居状況：男性17名受付で6名決定
(11月19日現在)女性4名受付で1名決定